



どを行うといいと思います。

僕(私)が市長だったら

① 少しずつ市の発展を図れるようにしていけるようにします。ただし、つくば市のように科学などを取り入れるのではなく、土浦市のように商業に力を入れる市にしていきたいです。そして、霞ヶ浦など観光資源になりそうなものにきつかけをつくて観光地化を進めていきたいです。観光地化することで、市への収入も増えるので、さらに市の発展へつなげられるようにしたいです。

② かすみがうら市をアピールするためにイベントを開きます。かすみがうら市で有名なわかさぎや梨や

栗・柿・巨峰など、たくさんのお食べ物をアピールするためのイベントを開いたり、霞ヶ浦に関するイベントを行い、市内の人や市外の人に来て楽しんでもらいたいです。

③ 明るく、誰もが安心して暮らせる市にしたいです。まず、住民でゴミ拾いを行います。また、道路も広くして、事故の少ない市にしたいです。

④ 道路の整備や街灯を設置するなどして、過こしやすい市をつくりまします。また、特産物をPRしていきます。

⑤ 小学生や中学生が安心して登下校できるように道路整備をします。現在は、歩道がないところが多く車を飛ばすところがあり、小学生や中学生が危ないと思うことがよくあるので歩道をつくりたいです。また、登下校時によくゴミが落ちていたので、道路をきれいにしたいです。



僕(私)の描く10年後のかすみがうら市

① 少子化になると思います。2019年の国体、せっかく茨城県で行われるのでアピールチャンスだと思えます。かすみがうら市は、災害も少なくとても安全です。「ここに住みたいな」と思わせることが重要だと思います。また、少子化をなくすために、子どもに対するサービスを増やすことが重要だと思います。例えば、子どもの具合が悪くなった時、学校のイベントがある時(授業参観・運動会など)、仕事を休める制度があるといいと思います。

② 霞ヶ浦のアオコが発生しないような取り組みをします。

③ あいさつ運動のようなイベントを増やして市民との関わりを増やします。

④ 事故防止対策として信号を増やします。

② 昔の霞ヶ浦みたいきれいな湖になって欲しいです。また、夜になっても明るくて安心安全な地域になってほしいです。

③ 小さい子ども、お年寄りを中心とした住みやすい場所になり、もっとたくさんの方が共有して使える場所が増えてほしいです。

④ みんなが明るく幸せになれるよう、いろいろな工夫のある良い市になってほしいです。また、安心して生活できる市になってほしいです。

⑤ 自然の豊かさは残し、道が狭いことや見通しが悪いなど生活で不便な所を直して、よい街になってほしいです。また、移動や買い物便利な地域になってほしいです。



市内3中学校の代表

市長 × 中学生

子どもたちはいまの市に何を感じているのか

住み続けたいまちへの提案

僕(私)が市長だったら

僕(私)の描く10年後のかすみがうら市



子どもたちが住み続けたいまちづくりを中学生の視点から提案していただき、懸念される人口減少に歯止めをかけるような魅力ある協働のまちづくりを創出すること、また選挙権が18歳に引き下げられることに伴い、早い段階から市政を初めとする政治や行政に興味を持ってもらうことを目的に「そうだ、市長と語ろう！中学生懇談会」を開催しました。懇談会は、市内中学校から選ばれた2〜3年生18人が中学校ごとに市長と対談をしました。対談の中では、中学生が日頃感じている事を発表し、他の参加者と意見交換を行いました。他にも市政に対しての疑問を市長に尋ね、市長が答えました。今回は、中学生から出された貴重な提案を抜粋して紹介します。

住み続けたいまちへの提案

① 霞ヶ浦を使った新しい産業づくりについて、もっと地元を積極的にPRしてほしいでしょうか。

② 今ある施設を十分利用し、それぞれの年代の人が楽しめる場所を作ってみてはどうでしょうか。例えば、あじさい館にカフェなどの軽食がとれる場所、歩崎公園の遊具の充実、多目的広場や勤労者体育館でのスポーツグッズの貸し出し、果物狩り施設のスタンプリーの設置な



千代田中 1月29日

下稲吉中 1月15日

霞ヶ浦中 10月9日